

平成28年度エコ農業とちぎ推進会議結果概要

日時：平成29年3月10日(金)15:30~17:00

場所：栃木県庁 北別館会議室201

1 「エコ農業とちぎ」の平成28年度の推進状況について

(1) 事務局より平成28年度に取り組んできたエコ農業とちぎの推進状況について以下のとおり説明した。

ア 各計画の推進方針

(ア) エコ農業とちぎ推進方針 (H26～H30)

(イ) 栃木県農業振興計画「とちぎ農業"進化"躍動プラン」(H28～H32)

(ウ) 栃木県農業農村整備推進計画 とちぎ水土里づくりプランⅢ (H28～H32)

イ 平成28年度 エコ農業とちぎの推進状況について

(ア) 環境に配慮した技術の充実と普及

・環境保全型農業直接支払交付金による支援、技術の普及啓発 (IPM、有機農業、再生可能エネルギー、生態系配慮)

(イ) エコ農業とちぎ宣言者の拡大

・Facebook ページ「エコ農業とちぎ」の開設、農業関係高等学校及び企業への推進 など

(ウ) 農業者 (実践宣言者) と消費者 (応援宣言者) を結ぶ仕組みづくり

・エコ農業とちぎ推進公開ほ場・エリアの設置と研修会の開催

・エコ農業とちぎ交流セミナー (バスツアー) の開催

・とちぎオーガニックフェスタ「オーガニックファーマーズマーケット～とちぎの台所～」の開催 など

(2) 事務局の説明に対する委員からの主な意見は以下のとおりであった。

ア 様々な手法で啓発・PR等を実施しているが、実践宣言者が少ないと思われる。未宣言でも既に取組を実践している農業者はたくさんいるので、それらの人達に宣言してもらい、農業者がしっかり実践していることを消費者に伝える必要がある。

イ Facebookの「いいね」の数を含めて、応援宣言者としてもいいのでは。

ウ 宣言による個人的メリットは少ないものの、宣言することが、「エコ農業とちぎ」を盛り上げることにつながることを農業者・消費者に理解していただく必要がある。

エ 生協へ出荷している農業者にも宣言をしていただき、実践店舗としてエコ農業とちぎをPRすることもできる。

オ 県 (事務局) だけでなく、いろんな主体でエコ農業とちぎの推進に取り組んでいく必要がある。

2 「エコ農業とちぎ」平成28年度取組の検証と平成29年度推進計画について

(1) 事務局より平成28年度取組の検証と平成29年度推進計画等について説明した

ア Facebookページ「エコ農業とちぎ」

・これまで掲載が少なかった地球温暖化防止などの取組や応援宣言者の取組を発信する必要がある。

イ エコ農業とちぎ推進公開ほ場・エリア

・研修会の説明者がエコ農業とちぎの取組の意義や効果なども含め分かりやすく伝えられていない場合もあるため、説明の充実を図る必要がある。

ウ 農業関係高等学校等への推進

・農業関係高等学校および県農業大学校へのPRや啓発の機会を増やす必要がある。

エ 企業への推進

・県と企業の包括連携協定等の機会を捉えた、企業への推進拡大や、企業の取組のフォローが必要である。

オ エコ農業とちぎ交流セミナー

・参加者の年齢や性別に偏りがあったため、幅広い年齢層や男性が参加できるよう工夫する必要がある。

カ とちぎオーガニックフェスタ「オーガニックファーマーズマーケット～とちぎの台所～」

・イベントを主催する「とちぎオーガニックフェスタ連絡協議会」の運営について引き続きコーディネートする必要がある。

(2) 事務局の説明に対する委員からの主な意見は以下のとおりであった。

ア 実践宣言者 (農業者) と応援宣言者 (消費者) が交流し、双方の想いがつながることが大事であり、宣言したことが満足につながると考えられる。この点を重視し、双方を結ぶ仕組みづくりの取組をより一層進めていただきたい。

イ Facebookページは、実践宣言者の顔が見えるような記事を掲載すると、閲覧者の増加につながると考えられる。

ウ 取組の「見える化」が重要。Facebookページはその一つと考えられるが、エコ農業とちぎ実践店舗やFacebookページ以外の媒体でも情報発信できると考えられる。

エ 「エコ農業とちぎ実践大賞」のような表彰を実施してはどうか。

オ 株式会社との連携だけでなく、環境配慮等に取り組むNPO法人等との協力・連携も視野にいれるとよいのではないか。

カ エコ農業とちぎの宣言者に取組を報告していただく場 (推進大会) があってもよいのではないか。

キ 農業高校の先生方や生徒に、あらゆる機会を用いてエコ農業とちぎを理解していただくよう進めていただきたい (例えば、県と農業高校との意見交換の場や、大学における農業高校の生徒等を対象とした講義など)。

ク オーガニックフェスタについては、今後も継続して実施していただきたい。